

法人会ニエス 2018 3

江東 ひがし

- ◎新年賀詞交歓会を開く
江東東税務親和会…… 2
- ◎「税の絵はがき」コンクール優秀作品決定… 4



す み だ 北 斎 美 術 館 蔵

浮世絵

葛飾北斎

『深川万年橋下』

(ふかがわまんねんばしした)

この図は、葛飾北斎筆の名所絵(浮世絵風景画)『富嶽三十六景』のうちの1枚。

深川万年橋は、現在の江東区内の小名木川と隅田川の合流点に架かる橋。北斎は晩年の一時期にこの近くに居住していたことが知られている。海拔の低かった深川では洪水対策のため、川の兩岸の石積みが高くしたという。その石積みの上に架けられた橋は、人々の視線からは本当に高い位置に見えたであろう。

北斎は、橋梁全体を真横から幾何学的に捉え、様々な人たちの往来を細かく描写している。一方橋下は、まるで別の風景画のように富士と街の景観を見せている。また、橋の手前の船の舳先さきによって富士のある方へ視線が誘われるのも面白い。

葛飾北斎とは(浮世絵師としての出発3)

念願のデビューを果たした春朗は、駆け出しの浮世絵師のスタートの例に漏れず、画面の小さい細版の役者絵や黄表紙、洒落本などに筆をふるい、勝川派のお家芸である役者絵を中心としながらも、相撲、美人、子供、武者、縁起物、動物、宗教画、名所などを題材に幅広い活躍を見せていった。

平成30年の幕開け 新年賀詞交歓会を開く 税務親和会主催



松本会長

平成30年の年頭を飾る江東東税務親和会主催の新年賀詞交歓会が、1月19日(金)亀戸のアンフェリシオンにおいて、来賓、当会会員及び他の税務5団体の会員合せて186名が参加して盛大に開催された。江東東税務親和会の菅野幹事(江東東間税会会長)の開会の言葉に続き、主催者を代表して、江東東税務親和会の松本光史会長(当会会長)が



挨拶される金子税務署長

「江東東税務親和会を構成する各団体それぞれに、事業活動は異なるものの、その根底に流れるものは、税知識の普及、納税意識の向上、円滑な

現在、国税及び地方税当局が組織を挙げて推進しているe-Tax、eLTAxさらには消費税の期限内完納、そして昨年に引き続き確定申告書の作成会場は東京国税局という告知等々について、我々税務協力団体が連携して邁進しなければならぬ」と挨拶した。

続いて、金子明弘江東東税務署長、木下誠東京都江東区副区長の来賓三氏から、日頃の税務行政への協力の謝意と更なる協力を要請する挨拶をいただいた。

その後、初めての試みとして「e-Tax・eLTAx利用推進宣言書交付式」を行い、

江東東税務親和会の松本会長から、金子署長、木下所長、海老澤副区長にそれぞれ宣言書を交付した。

続いて、会場を移し、秋田泰宏江東東税務署副署長の乾杯で再開し、来賓・会員との和やかな懇談の後、江東東税務親和会の大山秀治副会長(江東東納税貯蓄組合連合会会長)の閉会の言葉で終了した。

なお、この新年賀詞交歓会



講師の伊藤惇夫氏

「簿記3級検定」講座開催 全14回終了!

平成24年から始まり、今回で6回目を迎えた江東東法人会主催の「簿記3級検定」講座が平成29年11月14日から平成30年1月15日まで全14回を法人会館で行った。

講師に東京税理士会江東東支部所属の税理士志目健二先生を迎え、高校生から、会社経営者、主婦等12名の方が受講した。

簿記とは「帳簿記入」の略語として生まれた言葉。商品の購入や販売、経費の支払いなど、日々企業が行った取引を記録しておく必要があり、この日々の取引を記録する手段を簿記といい、簿記により最終的な利益や財産を計算することができる。

また、企業の維持、発展を

に先立ち、同所において当会主催の新春講演会が開かれ、政治アナリストの伊藤惇夫氏を講師に迎え「複雑化する日本政治のゆくえ」と題し、安倍総理の抱く「三大欲望」とは、「安倍一強」の光と影、政局展望と政権、今年の課題、野党に未来はあるかなどについて講演いただいた。

図るためには、過去の経営活動について反省し、この反省に基づいて将来の経営についての計画を立てなければならぬ。

志目先生は、簿記3級検定を受験する受講者のために仕訳から記帳、決算手続き、財務諸表の作成等を、簿記の基本原理や、取引の処理などに重点をおいた講義を楽しく解りやすく行った。

今回は、2名の方が皆勤賞で、簿記3級検定の合格を祈りたい。

次回もスキルアップや、仕事への活用のため、より多くの方々に受講していただきたい。

女性部会研修会

江東東税務署 金子署長の講演

女性部会の研修会が、去る12月12日(火)アンフェリシオンに於いて、部会員20名が参加し、講師に江東東税務署の金子明弘署長を迎え『組織の長として「私の人生訓」』と題して行われた。



講師の金子税務署長

金子署長は、はじめに、当女性部会に対し、「税の絵はがき」に対する取組、「全国女性フォーラム」への多数の参加等について敬意を表された。次に、組織の長として考えていることとして①税務署の組織には、綱紀の厳正な保持が何よりも大切。②説明責任は税務署側にある。③過ちを

正すのに遠慮はならない。また、万が一、間違った時にはスピードも大切。④前例にこだわらない。すべての案件が新規に発生した案件であると前提に立つて、判断し、実行するというはあり得る。工夫、改善によつて的確に対応することが税務の職場に求められていると説明された。

続いて、明治時代の東洋哲学者である安岡正篤氏の「思考の三原則」を紹介された。①目先にとらわれないで、長い目で見ること。②物事の一面に捉われないで、出来るだけ多面的全面的に観察すること。③枝葉末節に捉われないで、根本的に考察すること。

この三原則は現在でも教訓にしていると話された。最後に、ことばの力について、署長として「ほめる」を意識しているが、これは非常に難しいと感じている。

「ことば」は『言刃』とも書

き、人の心に付けた傷は簡単には直せない。また、「ことば」は『言葉』とも書き、落葉樹の葉は色付いて落ち、土

になり、樹木の栄養となつて春を待つ。樹木は感謝して新緑の芽を芽吹かせる。職場環境も落葉樹と同様で、人と人との巡り合わせによつて成り立っている。暖かい栄養を注入することにより、明るい職場環境が構築される。上司と部下の関係も、樹木と葉の関係のようになれば、素晴らしい組織になると考えている。

ことばの力は大きく、ことばの力を意識しながら引き続き頑張つて行きたいと締めくくられた。

「雇用リスクに基づく会社・役員に求められる責任」

経営研修会

当会主催の経営研修会が、去る2月16日(金)法人会館に於いて、講師に弁護士法人マネジメントコンシェルジュの弁護士村上元茂氏を迎え『雇用リスクに基づく会社・役員に求められる責任』と題して行われた。

続いて、メンタル不調の従業員対応、役員個人に及ぶリスク、不当解雇が会社に及ぼすリスクについて説明された。おわりに、リスクに対する事後の対応策として、「団体交渉」「労働審判」「訴訟」について説明された。

村上氏は、まず、今日における会社を取り巻く雇用リスクについて説明され、次に、職場におけるパワハラとこれに起因する従業員の怪我・病気が企業に及ぼすリスクについて精神疾患を例に説明された。

参加者32名は、「なるほど！」と頷くことも多く、大変勉強となる研修会となった。なお、本研修会は江東東間税会とAIG損害保険(株)との共催により開催した。

金子税務署長との座談会

青年部会役員9名参加

金子明弘江東東税務署長と当会青年部会役員との座談会が、去る2月2日(金) 税務署署長室に於いて行われた。

和額(写真の背景)について説明を受け、その後、江東西税務署と江東東税務署の違い、江東区の問題、シーサイドマ

ラソンや、租税教室のこと、ボーリング大会等の交流についてなどフリートークキングで和やかに進んだ。

金子署長から、江東東税務署の歴史、歴代署長、副署長、元国税庁長官の吉國二郎氏の

参加者9名にとつて、大変貴重な体験となる座談会となった。



金子署長を囲んで

小学生から465作品の応募 「税の絵はがき」コンクール

当会では女性部会の租税教育活動の一環として管内小学校の5年生・6年生の児童を対象に「税の絵はがき」コンクールの募集を平成25年度から毎年1回行っている。

平成29年度は、昨年7月3日(月)から女性部会役員等が管内の小学校を訪問して応募の依頼を行った。

9月1日(金)を募集締め切りとして、第一亀戸小学校84名、浅間堅川小学校133名、第一大島小学校140名、第四大島小学校42名、大島南央小学校9名、東砂小学校57名と計6校465名からの作品の応募があった。

応募作品は、江東東税務署の協力を得て、厳正な審査を行い、江東東税務署長賞、法人会長賞、女性部会長賞、法人会長特別賞、優秀作品賞が次のとおり決まった。

江東東税務署長賞

〔大島南央小学校〕

能登鼓太さん (6年生)

江東東法人会長賞

〔第一大島小学校〕

國竹美羽さん (5年生)



能登鼓太さん



國竹美羽さん

江東東法人会女性部会長賞

〔浅間堅川小学校〕

寺中歩佳さん (6年生)

江東東法人会会長特別賞

〔第一亀戸小学校〕

佐々木優夏さん (6年生)

〔東砂小学校〕

小倉菜々華さん (6年生)

優秀作品賞 (11作品)



寺中歩佳さん



佐々木優夏さん

〔第一亀戸小学校〕

久野花凛さん (6年生)

梅原凛々さん (6年生)

堀 陽花さん (6年生)

福井爽人さん (6年生)

〔浅間堅川小学校〕

國井埜々香さん (6年生)

渡邊陽香さん (6年生)

〔第一大島小学校〕

野村莉桜さん (5年生)

松井香穂さん (5年生)

玉井歩佳さん (5年生)

〔第四大島小学校〕

岩崎すみれさん (6年生)

〔大島南央小学校〕

涌井怜菜さん (6年生)

なお、これら作品のうち江東東税務署長賞を受賞された

能登鼓太さん、江東東法人会

長賞を受賞された國竹美羽さん、江東東法人会

女性部会長賞を受賞された寺中歩佳

さんは11月15日(水)

に開催された納税

表彰式で表彰状を

贈呈された。

江東東法人会長特別賞



小倉菜々華さん

未使用タオル提供のお願い!

皆様方がお年賀等でお取引先様などから頂戴するタオルで、未使用で余っているものがございましたら、当会事務局へご提供を賜りますようお願い申し上げます。当会では、社会貢献活動の一環として、未使用タオルを社会福祉法人等を通じて寄贈することとしております。災害被災地などでは本当に喜んで使ってくださいる方々が、まだまだ大勢います。随時受付しておりますので是非、ご提供ください。

連 載

支部長さんご推薦の店 ⑳

「山城屋酒場」

南砂第1支部長ご推薦



佐藤支部長

今回は、南砂第一支部・佐藤支部長が推薦する「山城屋酒場」さんを訪問した。

お店は、都営新宿線「住吉駅」「西大島駅」又は東西線「東陽町駅」から徒歩20分と少々離れているが、都バス【秋26】を利用すれば「北砂一丁目」バス停の目の前にある。酒呑みなら一度は聞いたこ



歴史を感じる看板

とがある超有名店で、清洲橋通り沿いにありながら日が暮れると周辺は暗く静まるなか大きな看板と藍色の暖簾、そして赤く輝くホッピの提灯が一段と目を引く。

店主は、4代目勢治さん。何とお店は、明治30年に深川で酒屋として始まり、現在の場所に移り大衆酒場として64年になる。創業以来120年に渡り震災や空襲を乗り越え暖簾を守り続けている。勢治さんが調理を担当し、おかみのハルちゃん、勢治さんの奥様が店内を切り盛りしている。

店内は、カウンター9席、4人掛けテーブルが3卓、小上がりには2卓あるが、奥の小上がりにはTVもあり普通の家の茶の間のような空間だ。カウンターや梁・天井にお店が歩んできた年月を感じ、



壁に貼られた豊富なお品書き

古めかしいポスターも貼ってあることから、昭和の時代にタイムスリップしたような古民家風酒場になっている。

豊富なお品書きはどれも価格がリーズナブルで、出てくる料理はボリューム良し！質



カキ、鳥肉、豚肉ミックスの白みそ仕立て鍋

ほっくり、サクサク コロッケ 2コで400円



店主イチ押し さしみ三種盛 730円



ネギもたっぷり あんきも 490円



自家製 きゅうりぬか漬け 220円

よし！味よし！と訪れるお客さんを虜にしている。

人気メニューを伺うと寒い時期は「白子鍋」や「カキ鍋」などの鍋物。その他おすすめは「さしみ三種盛」、「自家製きゅうりぬか漬」、「定番「コロッケ」、「あんきも」、「味自慢「焼そば」」などなど、どれもお酒のお供にピッタリと合う。

勢治さんは「特に鮮度の良

い食材、旬の食材を心がけています。毎日変わるお勧めの品も楽しみに来ていただきたい」と話す。また、ハルちゃんは「不慣れな所ですが是非お越しください。お電話をいただければお席をお取りしておきます」とのこと。



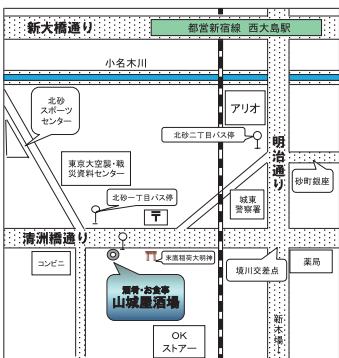
元気いっぱい おかみのハルちゃん

住所：南砂1-6-8

電話：3644-3098

時間：月～土16時～23時迄

休業日：日曜日



連載

わがまち 東 城 その20

醤油業者の供養塔・大島念仏堂と珂碩

大島五・六丁目

●醤油業者の供養塔

(大島5-39)

徳川家康江戸入府とともに小名木川の開きく工事が行われた。これは小田原北條支配時代に行徳産の塩が小田原へ送られていたのを、江戸開府によって塩を江戸へ運搬するため舟路を通ずるのが目的であった。

そのうち小名木川は東国方面の産物を江戸に移入する重要な水路となつて、小名木川の沿岸に塩と農産物を原料とする醤油製造工場がたてられることになった。

醤油は茨城地方や下総銚子、野田方面から江戸に送られていたが、大都会としてその需要をみたすために江戸近郊においても醤油製造工場が必要

となつたのははじまりで、江戸時代には小名木川沿岸の大島村、下大島町に行徳の塩と結ばれて醤油醸造業者の蔵が多くあつた。

それらの蔵には専属の杜氏もいたが、地方からも杜氏(醸造技師)がここに来て各工場に雇われ醤油の生産が行われたのである。

勝智院(大島5-39)にこれらの杜氏の仲間が建立した供養塔が現存している。

この石塔は戦災でひどく破損しているが天保(二八三〇)のころのものらしい。塔の高さ3m余のものであつて塔身に「南無阿弥陀仏」とあり台石の周囲に蔵と専属杜氏の名が多数ぎざまれている。

ほかに桶の製作者と鳶職の名があり、また各地方からこへ出稼ぎの杜氏の名がたくさん刻まれていて醤油醸造のさかんであつた当時がうかがえらる。

●大島念仏堂と珂碩

(大島6-1)

大島6丁目愛宕神社付近は江戸時代深川靈巖寺の寺領で

あつて、そこに大島念仏堂があり、僧珂碩が住んでいた。珂碩はのちに九品仏の浄真寺(世田谷区奥沢町)の開山となつた人である。もとは白河町1丁目靈巖寺第三世大誉珂山の弟子であつた。

珂碩は師珂山を補佐し明暦3年(一六五七)の大火で焼けた靈巖寺の日本橋から深川に移転に努力し、土地の埋立、堂宇の建立などすべてその功をとり延宝6年(一六七八)に水害で流失した大島念仏堂をうつして、いまの浄真寺を建立した。浄真寺は九品仏ともよばれ九体の阿弥陀如来像をまつて有名となり現存している。

珂碩は奥沢に住むこと17年、住民の教化につとめ、また医療にも通じて廃疾不具のものを救護した。元禄7年(一六九四)10月7日、77歳にて死去し、後世珂碩仏と称して敬慕せられている。

珂碩が大島念仏堂時代に使用した茶釜は「飛び茶釜」とよばれて寺宝となつている。

この茶釜は寛文8年(一六六八)の铸造で、例の大島の太田氏釜屋六右衛門がつくつたもの。山城国宇治里、宮本仁右衛門という人が「為二親菩提也」と両親供養のためつくるとの銘文がある。(当時の原文で掲載)

第7回 通常総会のご案内

開催日 6月6日(水)

会場:アンフェリシオン

第1部 記念講演会(午後3時30分~同4時45分)

第2部 第7回通常総会(午後5時~同6時)

第3部 懇談会(午後6時~同7時)



▼妻が子宮体癌になった。手術、半年間の抗癌剤治療、二ヶ月間の放射線治療で撃退。家族一丸となつての快挙だつたと思う。

▼今は、二人に一人が癌になる時代だそう。もはや余所(よそ)の話ではなくなつたと思う。

▼ところが、私は64歳の今まで、人間ドックを受けたことがなかった。一通りの検診くらいで、時間がないの言い訳にしてきた。今回、かなりの覚悟を決めて、受診することにしたが、次第に不安が高まり、妻の時のことも頭を過(よぎ)つたりした。

▼胃と大腸にポリープが見つかったが、幸運にも良性だつた。後日、結果が届き一安心。長期間、かえりみられず酷使された私の体は、多少のメンテナンスでまだ頑張れそうなのには感謝したい。

▼まだ、人間ドックを受けていない方、何とか時間を作つて、早目に受けることをお勧めします。(寺)

e-Taxの利用手続がより便利になります。

平成31年1月のe-Taxから、マイナンバーカードとICカードリーダーライターを利用して自宅のパソコンから申告できるマイナンバーカード方式に加え、税務署で受け取ったIDとパスワードを利用して自宅のパソコンから申告できるID・パスワード方式が導入されます。ID・パスワード方式での申告をご希望される方は、平成30年4月以降に運転免許証などの本人確認書類をご持参の上、所轄の税務署へお越してください。

なお、ID・パスワード方式の利用に当たっての主な注意点は以下のとおりです。

①ID・パスワード方式によるe-Taxでの申告は、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」でのみ利用できます。

②ID・パスワード方式はマイナンバーカード及びICカードリーダーライターが普及するまでの暫定的な対応です。

平成30年度 国税専門官募集

国税専門官は、国税局や税務署において、また租税収入を確保するため、税務のスペシャリストとして法律・経済・会計等の専門知識を駆使し、次のような事務を行います。

◆**国税調査官**は、所得税、法人税、相続税などの直接税及び消費税、酒税などの間接税について、納税義務者である個人、会社等を訪れ、適正な納税申告が行われているかどうかの調査・検査を行うとともに申告に関する指導などを行います。

◆**国税徴収官**は、定められた納期限までに納付されない税金の督促や滞納処分を行うとともに納税に関する指導などを行います。

◆**国税査察官**は、裁判官から許可状を得て、大口・悪質な脱税の疑いがある者に対して捜索・差押えの強制調査を行い、刑事罰を求めるために告発するまでの一貫した職務に従事します。

このように、国税専門官には、豊かな教養と高度な専門知識のみならず、仕事の性質上強じんな精神力とバイタリティーが要求されます。税務の職場では、このような優れた資質を備えた国税専門官の活躍が期待されています。

- ◇受験資格
- 1 昭和63年4月2日～平成9年4月1日生まれの者
 - 2 平成9年4月2日以降生まれの者で、次に掲げるもの
 - (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに大学を卒業する見込みの者
 - (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

◇申込方法 インターネット申込み
人事院ホームページ上の申込専用アドレス (<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>) をご利用ください。

※インターネット環境(原則パソコン)及びプリンターが必要になります。

◇受験申込受付期間 平成30年3月30日(金)午前9時～4月11日(水) [受信有効]

◇試験日 第1次試験 平成30年6月10日(日)
第2次試験 平成30年7月11日(水)～7月19日(木)のうち指定する日時
なお、土・日曜日及び祝日の休日は実施しない予定です。

一江東都税事務所からのお知らせ一

自動車の移転手続・廃車手続はお済みですか？

自動車税は、毎年4月1日現在、自動車検査証（車検証）に記載されている所有者（割賦販売の場合は使用者）の方に課税されます。

自動車を譲渡したときは「移転登録」、廃車したときは「抹消登録」の手続きが必要です。お早めに、管轄の運輸支局又は自動車検査登録事務所で手続きをお済ませください。

◇ **自動車を譲渡したとき：平成30年3月30日（金）**までに「移転登録」をお済ませください。

★ 移転登録の手続きがお済みでないと、手放したはずの自動車に自動車税が課税され、トラブルの原因となります。

◇ **廃車等で自動車を使わなくなったとき**：速やかに「抹消登録」をお済ませください。

★ 抹消登録の手続きがお済みでないと、廃車したはずの自動車に自動車税が課税され、トラブルの原因となります。

登録手続に関しては、以下のホームページをご覧ください。

〈国土交通省ホームページ「自動車検査・登録ガイド」〉

http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr6_000008.html

【お問い合わせ先】東京都自動車税コールセンター 03-3525-4066

平日 9時～17時（土・日・休日を除く）

行事予定**3月**

1日(木)	決算法人説明会	午前の部 午後の部	午前 10 時 午後 2 時	カメラプラザ "
13日(火)	無料記帳相談・税務相談		午前 10 時	法人会館
16日(金)	源泉部会 研修会 内容：「調査で指摘されやすい事例 & 平成30年度の税制改正」 講師：江東東税務署担当官		午後 3 時	法人会館
28日(水)	第5回 理事会		午後 3 時30分	法人会館

4月

3日(火)	東砂第2支部 支部研修会		午後 6 時30分	東砂北地区集会所
12日(木)	第13回全国女性フォーラム山梨大会			甲 府 市
16日(月)	決算法人説明会 東砂第3支部 支部研修会		午後 2 時 午後 6 時	江東東税務署 東砂南地区集会所
17日(火)	無料記帳相談・税務相談		午前 10 時	法人会館
25日(水)	税務研究部会 第47回 通常総会		午後 3 時30分	法人会館
26日(木)	第1回 理事会		午後 3 時	法人会館

5月

11日(金)	女性部会 第51回 通常総会		午後 1 時30分	法人会館
12日(土)	社会貢献活動 第39回「まちをきれいに」		午前 9 時30分	亀戸地区
15日(火)	無料記帳相談・税務相談		午前 10 時	法人会館
16日(水)	新設法人説明会 亀戸第9支部 支部研修会		午後 3 時 午前10時30分	江東東税務署 亀戸東地区集会所
18日(金)	青年部会 第47回 通常総会		午後 5 時	法人会館
22日(火)	源泉部会 第44回 通常総会		午後 3 時	法人会館

◎内容・講師が未定となっている各部会の研修会等は、決まり次第ホームページに掲載しますので、ホームページをご覧ください。

◎各種研修会・説明会には会員以外の方の参加も可能です。お問い合わせは事務局まで。 ☎03-3684-2303

管内法人数 4,394社 法人会員数 1,641社 加入率 37.35% (平成30年1月30日現在)

バックナンバーはホームページをご覧ください。 <http://www.koto-higashi-h.or.jp/>